

《特別講演》

# 多言語社会に対応できる教師を目指して

日 時 : 11月9日(金) 18:00~19:30

場 所 : 創思館 カンファレンスルーム

講 師 : トロント大学東アジア研究科 名誉教授

中島 和子先生

(元名古屋外国語大学教授 <日本語教育>)

平成16年度の文部科学省の調査では、日本の公立小一高等学校および特別支援学校には日本語の指導の必要な児童・生徒が19,678人いると言われています。もし、あなたのクラスに日本語が不自由な子どもたちが来たらどうしますか？日本語指導は？母語のサポートは？教科指導は？クラスの友達との関係は？保護者との連携？進路指導は？多言語多文化社会に対応できる教師を目指すために、今の段階であなたが知っておくべきことをまとめます。

講師の中島先生は、日本の年少者言語教育・支援に造詣が深く、本年3月に名古屋外国語大学を退官された後も日本国内のバイリンガル教育と世界中の継承日本語を支援するために活動を続けていらっしゃいます。多言語社会で生きる子どもの教育に生涯を捧げてこられた多言語教育のリーダーに直接お話を伺うことができる機会です。ぜひこの機会を大切にしてください。

## 講師略歴:

国際基督教大学、同大学院、トロント大学大学院を経てトロント大学東アジア研究科教授。現在同大学名誉教授、外国人のための日本語教育に携わる傍ら、異言語環境で育つ年少者の2言語の発達とアイデンティティの調査研究に取り組む。

1997年代ごろから国立国語研究所のプロジェクトの一環として外国人児童生徒の言語教育に関わる。2002年より名古屋外国語大学日本語学科教授、日本語教育センター長。2007年3月退職、現在カナダ在住。カナダ日本語教育振興会名誉会長、母語・継承語・バイリンガル教育研究会会長。桜美林大学言語教育研究所客員研究員。

著書に『バイリンガル教育の方法』(アルク)、『ことばと教育』(海外子女教育振興財団)、『カナダの継承語(訳著)』(明石書店)などがある。

連絡先: 文学部事務室 山田

(TEL: 075-465-8187 またはE-mail: hiromi-y@st.ritsumeit.ac.jp)

\* 当日参加もできますが、人数把握のため事前申し込みをお願いします。